

公益社団法人埼玉県社会福祉士会 2021 年度事業計画

1 基本方針

2021 年度は本会が「県民福祉の向上」を目指して公益社団法人に移行して 10 年目の節目を迎える。この間、会員の増加や事業の拡充が行われる中で、会運営に係る組織体制のあり方の検討や公益法人としての事業の再確認等が必要になっている。

また、我が国の社会経済状況の中で、生活のしづらさを持ちながら、相談支援の網目から長期にわたって漏れてしまう状況が広がってきている。これに加え、2020 年からのコロナ禍のもと、生活課題を抱える方々が急激に増大している。

こうした実態の中で、ソーシャルワーク機能に対する期待がますます高まっている。本会は社会福祉士の職能団体として期待に応え得るよう、組織基盤の計画的拡充を図り、調査研究活動や先駆的支援への取組みを一層強化することとした。さらに、感染予防のため、対人支援の核としての面接や対面支援が大きく制限され、専門性向上を図る研修の開催が困難となる中、事業の継続性を確保していくことが急務である。

これらを踏まえ、2021 年度は会の運営方針として、次の重点目標に取り組む。

【2021 年度の重点目標】

(1) 専門職能団体として、県民福祉の向上に寄与するために、各委員会活動の活性化を図る。

- ・会員一人一人が困難な生活課題を抱える人々の声を発信し、理解と共感そして解決に向けた実践に取り組めるよう調査研究、研修を行う。
- ・成年後見制度利用促進事業への協力や新たに未成年後見活動に取り組む。

(2) 会員拡大を図るとともに自主財源の確保と事務局体制の充実・強化を計画的に推進する。

- ・新たに学生会員の制度や若者層への会費優遇措置の導入など加入促進を図る方策等を検討・実施する。

(3) 会活動の多様化に対応し、会員が主体的に運営に参加できる組織体制の強化を図る。

- ・多様化している委員会活動が更に充実し適切に実施できるよう、運営委員会や部長会の見直しを図り、会員が参加しやすい組織体制を実現する。

(4) コロナ禍での新生活様式を踏まえた研修・会議のあり方を探求していく。

- ・研修・会議の開催方法を見直し、オンライン方式等の活用を進めるため、人材養成や環境の整備に取り組む。

2 総会等 会議の開催

(1) 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 2021 年度通常総会

- ・日時：2021 年 6 月 26 日（土） 10 時開会
- ・場所：さいたま共済会館 601・602 会議室
- ・内容：2020 年度事業報告、決算報告を行なう。

(2) 理事会

- ・公益社団法人埼玉県社会福祉士会理事会を 3 回開催し、業務執行のほか苦情案件の審議、決定を行う。

(3) 監査会

- ・公益社団法人埼玉県社会福祉士会監査会を 5 月に開催し、2020 年度事業の業務及び会計監査を行う。

(4) 運営委員会

- ・本会及び各委員会の運営を中心として事業の連絡調整や具体的意思決定のため奇数月に年 6 回開催する。

(5) 部長会

- ・理事会の補完的役割を担う目的で、各部の担当理事等により毎月定期的
に開催する。